



世界に希望を生み出そう

2023~2024

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 柳澤 講次 幹事 藤掛 誠一郎
 広報・雑誌・会報委員長 野崎 修

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう R.I. 会長 ゴードン・R・マッキナリー



第 2692 回例会 No.22
 2024 年(令和 6 年) 1 月 26 日(金) 晴
 「手に手つないで」
100 万ドル例会 (カレーライス)

出席報告

会員 60 名中 45 名 出席率 75.00%

○スピーカー

本證寺 住職 小山 興圓氏

○ゲスト

飯野 智史氏

○ビジター

西宮 RC 小淵 博之君

会長挨拶

会長 柳澤 講次君



皆さんこんにちは、能登半島地震からもう少しで 1 か月になります。今日は会長としてではなく建築士として皆さんにお話しさせていただきます。

政府も阪神、東北、熊本地震などを経て次に起こ

る地震にそなえ、いろいろな国土強靱化策が考えられて来たはずですが、同じ地震が来るわけではなく発生する場所も違うので過去の教訓を生かすのが難しく、悲しい事件の発生を止めることはできません。

先日大学の先生、研究者から地震の発生原因や地震の周期等の研究発表会がありました。いろいろな学術的な論理で説明していましたが、最後の質疑応答は、学者の間からは学術論理の質問ではなく、どうしたら悲惨なことが起きないようにしたらいいかという意見ばかりが目立ち、なるほどと思いました。

地震は、日本中いつでもどこで起こってもおかしくない状況です。これを毎回違う地震が訪れます。そんな中どんどん若者が少なくなり 72 時間以内に救命するにはどうしたらいいかを考えなければならないと思います。

基本的には地震が来て住宅が倒壊して中に人が閉じ込められていても、まずは救助隊の入る道路の障害物を取り除き、そのあとトリアージを行い、そのあと救助するのが基本だと、応急危険度判定士の訓練の時に

目にしました。本来であれば近所の人たちで助け出さなければなりません、昨今の近所付き合いの希薄になっている状況ではとても心配です。

神戸の建物の倒壊を目の当たりにしたとき、本当に我々建築士が、どうしてもっと安全な建物を作らなかったかと反省しました。しかしその後我々の努力の甲斐あって東北、熊本では神戸に比べ、人命を奪う倒壊は少なくなりました。今回も耐震改修を行っている建物はほとんど倒壊していません。私たちももっと丈夫な建物を作る努力をしなければならないと思います。

それと最後になりましたが私も「どうする家康」のファンです。お話楽しみにしています。よろしく願いいたします。

ニコ BOX

(「どうする家康」のファンで本證寺の話を楽しみにしています) 柳澤会長

(小山興圓さん、本日の卓話よろしくお祈いします！ゲストの飯野智史さん、ビジターの小淵博之君、ようこそお越しくださいました。ゆっくり楽しんでいてください) 藤掛幹事

(能登半島地震で被災された輪島の高齢患者さんの受け入れをしています。可能な範囲での『支援との想い』で今後受け入れを予定しています) 菅君 (小山 興圓様、本日の卓話宜しくお祈いします) 野崎君

本日合計	10,000 円
累計	1,233,620 円

幹事報告

藤掛 誠一郎君

1. 能登半島地震の義援金はしばらく集めますので、皆さんも毎回 1,000 円のご協力をお願いします。先週報告しましたように、金沢みなとロータリークラブと連携して継続して取り組んでいきます。
2. 前回、市野国際奉仕委員長から説明があった「ランドセルプロジェクト」もご協力をお願いいたします。
3. 地区などの報告です。本日ですが 1 月 26 日 13 時から地区財団活動資金 (DDF) 検討会、14 時から第 5 回ロータリー財団委員会運営会議、16 時から第

2 回ロータリー財団全委員会に、猪子君、長瀬君が出席していただいております。ありがとうございます。

4. 本日の例会食事はカレーです。「100 万ドル食事の日」ということで今年度 4 回目であり、通常食事代からカレー代の差額をロータリー財団に寄付しています。「100 万ドル食事の日」は繰り返しの話をして申し訳ございませんが、元々は 1960-61 年にロータリアンが 50 万人になったのを記念して 1 人 2 ドルずつ食事代を節約して 100 万ドルを寄付しようというものです。

以上です。

卓話

「大河ドラマ『どうする家康』三河一向一揆の舞台
【本證寺】の歴史」

○スピーカー

真宗大谷派本證寺 住職 小山 興圓氏



寺伝によると、鎌倉時代、建永元(1206)年慶圓上人により開創。本尊は阿弥陀如来立像(開創当初は聖徳太子孝養像)。山号は雲龍山(かつては醍醐山)真宗大谷派。下野小山城主小山朝政の次男(鞠負佐兼光)は、比叡山

延暦寺の慈円大師に師事し「性空」と名乗った。野寺の地で布教を始めた上人は、親鸞聖人が上京する途中、矢作柳堂で行った説法を聞き、親鸞聖人の弟子となり慶円と称するようになった。

室町中期になると、本願寺第八世蓮如上人の御教化により、高田門徒から本願寺派に改宗。勢力を広げ、三河の本願寺派寺院としては、岡崎佐々木上宮寺・針崎勝鬘寺と共に、三河国の真宗寺院の中核として栄えた。

永禄 5(1562)年、9 代玄海上人が加賀一向一揆にて討死されると、本願寺第十一世顕如上人の命により、猶子である堅田慈敬寺(蓮如上人の九男実賢開基)より空誓上人が入寺せらる。

永禄 6 (1563) 年、三河支配を目論む若き松平元康(後の徳川家康)との間で三河一向一揆が勃発。翌永禄 7 年にかけて、松平家康の家臣は一揆方と家康方に分裂して争った。そこに吉良義昭や荒川義広といった今川派の諸将や、大草松平、桜井松平家といった松平家分家の領主が参戦して三河は大混乱に陥ったため、大久保忠俊の仲介で一揆方の諸将を許して和睦し、三河一向一揆は収束。

家康は和議を破り、一向一揆に荷担した諸寺に改宗を迫り、坊主分は国外退去を命ぜられ、三河では真宗は禁制となった。しかし、天正 11(1583)年、家康の

叔母である芳春尼の尽力により禁制が解かれて再建され、江戸期には三河触頭三ヶ寺の一つとなった。全盛期には 240 ヶ寺の末寺を抱える中本山として隆盛を誇る(明治期に制度は解体)

一向一揆で破却されたが、空誓上人のご功績により、鎌倉時代の「聖徳太子絵伝」「善光寺如来絵伝」(いずれも国重要文化財)以下数十点の文化財を所蔵。

なお、寺内町・城郭伽藍を良好に遺す境内地は 2015 年に国指定史跡となっている。

月	日	今後の例会予定
2	2	休会
	9	港友例会 新入会員自己紹介 小椋 由美子さん 17F「コスモス」
	16	卓話 元プロキャディー 杉澤 伸章氏 17F「コスモス」
	23	例会変更 西名古屋分区 IM 2/14(水)
3	1	港友例会 新入会員自己紹介 大野 正博君 17F「コスモス」
	8	卓話 名古屋中央 RAC 代表 17F「コスモス」
	15	休会
	22	卓話 元 JAL 機長(神奈川工科大学教授) 丸山 佳男氏 17F「コスモス」
	29	卓話 (株) FM BIRD 代表取締役 長倉シュタッフ牧子氏 17F「コスモス」